

鳥害を防ぐにはまず相手を知ろう

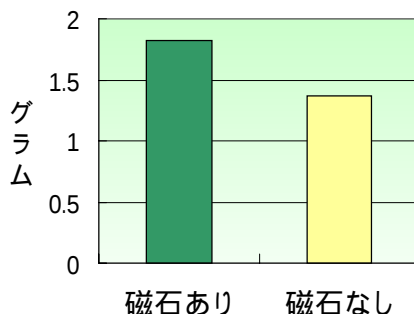
Knowing birds helps you reduce crop damage

鳥たちの感覚能力は、私たちヒトと大きく違うのでしょうか？
彼らの能力を知って、有効な対策に役立てましょう。

鳥は地磁気で方位が
わかるって本当？

答え：本当です。伝書バトや長距離の渡りをする小鳥などは、地磁気で飛ぶ方向を知ることがわかっています。それなら、磁石を置くと方向感覚が乱されるので寄ってこなくなるでしょうか？

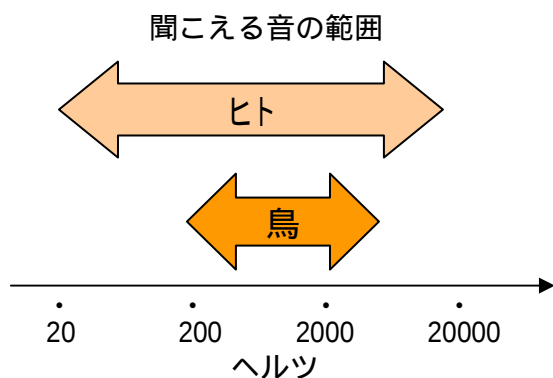
残念ながら、鳥は太陽や星でも方向を知ることができますし、日常の行動範囲を飛び回るときは視覚に頼っています。



磁石を取り付けた餌台と磁石のない餌台で、ヒヨドリが1時間あたりに食べる餌の量を比べましたが、磁石のある餌台でも普通に餌を食べてしまいました。

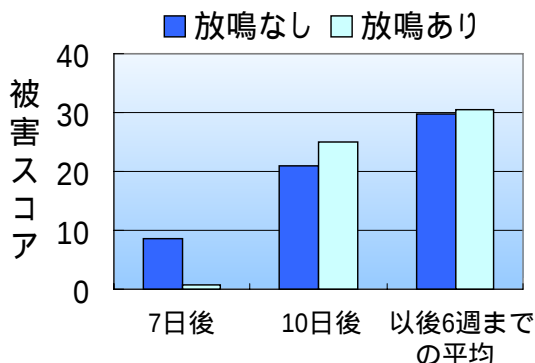
鳥は超音波が
聞こえる？

答え：聞こえません。ヒトに聞こえる音の周波数範囲は、およそ20ヘルツから2万ヘルツですが、普通の鳥が聞こえるのは200ヘルツから8千ヘルツ程度なので、ヒトに聞こえない音は鳥にも聞こえません。ただし、ハトやニワトリは20ヘルツ以下の音も聞こえますが、これは超音波ではなく超低周波といえます。



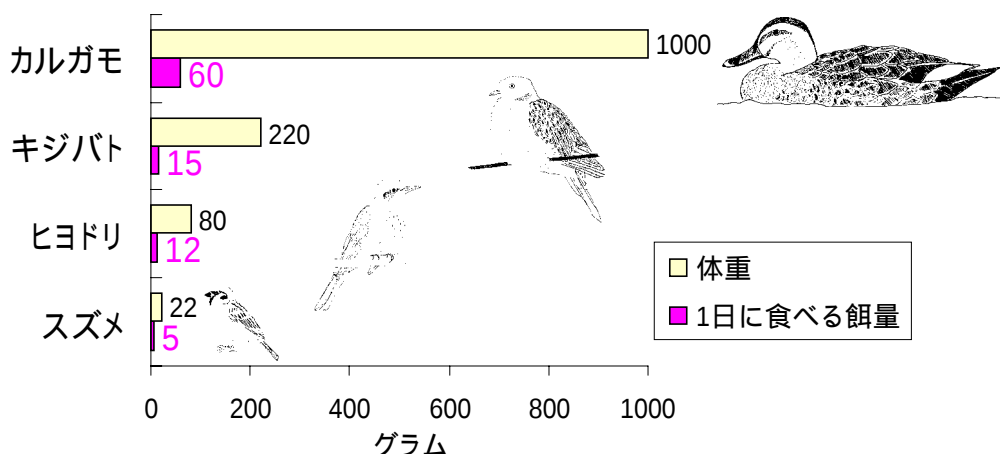
本能的に嫌がる音がある？

答え：タカに対する警戒の声は、本能的な声です。けれども、録音した警戒声を何度も聞かせると、本当にタカがいるわけではないというウソを見破り、やがて慣れてしまいます。つまり、鳥が本能的に避け続ける音はありません。



警戒声を放鳴した餌台のミカンは、7日目まではほとんど食べられませんでした。その後は警戒声の有無に関わらず食べられてしまいました。

鳥は1日に
どのくらい餌
を食べる？



答え：スズメが5g、ヒヨドリが12g、キジバトが15g、カルガモが60gくらいです。小さい鳥のほうが体温を奪われやすいので、体重当たりではたくさんの餌を食べます。

これらの値は穀物や配合飼料などの水分の少ない餌の重さなので、果物など水分の多い餌では4～6倍の量になります。また、寒い時期には体温を保つために2～3割多く食べます。

鳥はヒトより
目がいい？

答え：ハトやスズメなどの普通の鳥の視力は、ヒトと比べて特に良くはありません。遠くから獲物を見つけるタカの仲間では、ヒトの3倍くらい視力が良いことがわかっています。

色覚や視野の広さは鳥のほうがすぐれています。ヒトには見えない紫外線や偏光を見ることができ、餌をついばみながら周りの警戒もできるような目の構造をもっています。

おまけ：鳥は「鳥目」で夜は目が見えないと思われていますが、普通の鳥でもヒトと同じくらいは見えています。ただし、ヒトに比べて、急に暗くなった時に目が慣れるのに時間がかかります。

鳥の移動距離は
どのくらい？

答え：渡り鳥は毎年春と秋に、長ければ数千kmもの移動をします。ハクチョウやツルだけでなく、ツバメなどの小型の渡り鳥でもそうです。ヒヨドリのような留鳥といわれる鳥でも、なかには季節的に数百kmも移動するものがあります。

いっぽう、日々の行動範囲は、なわばりを作っている間はそのなわばり内となり、ヒヨドリでは直径100m、ハシボソガラスでは直径数百mくらいです。巣のまわりの狭い範囲だけをなわばりとするハトや、営巣時期以外は群れになる鳥では、毎日数kmから20kmくらいの範囲で餌を探して動き回ります。